

人を育てる支援

「しまね子ども読書フェスティバル in 出雲」を開催しました！

島根県の委託事業「しまね子ども読書フェスティバル in 出雲」を開催し、出雲市内の「子ども読書活動推進団体」と「学校教育関係者」、「出雲市立図書館」の三者で実行委員会を立ち上げ、子どもの成長段階に応じた、読書への興味が広がるような企画に取り組みました。

今回は、公共図書館と学校図書館との連携した取り組みを重視しました。メインイベントは、絵本作家で鳥の巣研究家でもある鈴木まもる氏の講演会でした。その他の企画として、講師作品を学校図書館で展示したり、子ども読書活動支援専門ボランティアや学校司書が講師作品を取り入れたブックトークを授業の時間を使って実施できたりしたことは、児童生徒に科学的な読み物への興味関心をもたせるきっかけになったと思います。市内の学校全体で、共通する一つのテーマを持って読書活動に取り組むことができたことは、大きな成果でした。

【フェスティバル事業の取り組み】

- 鈴木まもる講演会「絵本と鳥の巣の不思議 - 鳥の巣が教えてくれること -」
とき：11月24日（日）13：30～15：30 場所：出雲中央図書館 参加者：97名
- 鈴木まもる作品の読み聞かせや展示の実施
とき：読書週間前後 場所：市内小中学校 対象：市内小中学校の児童生徒
- 鈴木まもる作品を活用したブックトークの実施
とき：令和元年度中 場所：市内小中学校 対象：市内小中学校の児童生徒
- 鈴木まもる作品の展示
とき：読書週間前後 場所：市内各図書館（7館） 対象：利用者



小学校図書館 展示



ブックトークの様子

学校図書館関係図書・雑誌を学校図書館関係者へ貸し出します。

最近購入した本です。ご活用ください。

- 📖 「学校図書館ガイドライン」活用ハンドブック 実践編 [堀川照代/編著 悠光堂/刊]
- 📖 学校図書館ひらめきアイデアノート [竹内純子/著 少年写真新聞社/刊]
- 📖 多様なニーズによりそう学校図書館 [野口武悟、児島陽子、入川加代子/著 少年写真新聞社/刊]
- 📖 図書の修理とらの巻 [書物の歴史と保存修復に関する研究会/編 澤標/刊]

※毎月、雑誌「学校図書館」を購入しています。リアルタイムの学校図書館の情報を得ることができます。バックナンバーもあります。



学校司書・読書ヘルパー研修を実施しました。



基
本
研
修

○「学校図書館の活性化をめざして」～できることからやっつけよう！～

講師：島根県立図書館 指導主事 高麗美保氏 出雲教育事務所 指導主事 福谷和彦氏

とき：5月24日（金）14：00～16：00 対象：学校司書、読書ヘルパー

学校図書館は「学び方を学ぶ」場所であることや、学校司書は資料のプロであり、「楽しい図書館」「役に立つ図書館」になるよう読書環境の整備や授業に必要な資料の提供に努めることが大切であると学びました。

また、平成30年度学校図書館活用教育研究事業の研究校であった奥出雲町立布勢小学校や雲南市立三刀屋中学校の実践紹介をしていただきました。今後の業務や活動の参考になりました。

実
務
研
修

○「学校司書の業務を可視化してみよう！」Part II

講師：出雲養護学校 学校司書 山本恵美子氏

とき：7月30日（火）14：00～16：00

対象：学校司書

新学習指導要領を読み、学校図書館との関連を再認識する機会となりました。また、学校司書の年間を通した業務を可視化するため、年間業務一覧表のフレーム作りをし、自校の業務表の作成につなげることができました。業務を可視化することで、学校行事や授業関連の資料の準備を計画的に行うことができます。

○「子どもと本をつなぐ架け橋に」

講師：島根県立図書館 読書普及指導員 遠藤雅代氏

とき：7月23日（火）14：00～16：00

対象：読書ヘルパー

読み聞かせの意義や選書の大切さについての講話を聴き、読み聞かせの仕方について実践をしました。読み聞かせは子どもと読み手のスキンシップであり、人に対する信頼感が育成されるなど、人格形成に不可欠なものであることや、読み手が子どもに適書を届けることの重要性について学びました。

読
書
支
援
研
修

○「選書の重要性」 講師：山陰こどものとも社 代表 末宗辰彦氏

とき：11月8日（金）14：00～16：00

対象：学校司書、読書ヘルパー

親と子のふれあいや実体験から生まれる「五感のことば」を身に付けることで、想像力（創造性）が育ち主体（意志）が確立することや、科学の本は教えることではなく好奇心をかき立てさせることが大事であることなどを教えていただきました。また、子どもたちに本物の本に出会わせることの大切さについて熱く語られました。

選書の基準として、『今、この本を子どもの手に』（東京子ども図書館/刊）を紹介されました。

【講師から紹介された言葉】

『「知る」ことは「感じる」ことの半分も重要ではない』

（「センス・オブ・ワンダー」レイチェル・カーソン/著 新潮社/刊 より）

あとがき

今年度も残り少なくなりました。学校図書館ではこの一年、子どもたちのどんな姿が見られたでしょうか。調べ学習や読書活動など積極的に活用されたでしょうか。

来年度から小学校では新学習指導要領が本格実施されます。学校図書館の一層の活用が期待される中、学校図書館支援センターも新たな学習支援に対応できるよう努めていきたいと思っています。今後ともご協力お願いいたします。

また、子どもたちの豊かな心や生きる力を育むストーリーテリングやブックトークを推進しています。実施されていない学校は、ぜひ申し込んでいただきますようお願いします。

